

(問) フードスペシャリストとは、どのようなものか。

(答)

公益社団法人日本フードスペシャリスト協会が、食品の生産、加工、流通、販売のプロセス全体にわたり、食についての幅広い知識と技術を持っていることを認定し、交付している資格です。

このため、「フードスペシャリスト」は、食品関連業務において、食品の生産から流通にわたる総合的な指導助言やコーディネート等を行う業務を担っています。

私は、「フードスペシャリスト」となることを目指し、学校において、食品の官能評価・鑑別論など21単位を取得し、資格認定試験に合格しました。資格は卒業時に取得となります。

(参考) 必須科目は、フードスペシャリスト論、食品の官能評価・鑑別論、食物学、食品の安全性に関する科目、調理学、栄養と健康に関する科目、食品流通・消費に関する科目、フードコーディネート論などがある。

(問) フードスペシャリストの資格は、どのようにすれば取れるのか。

(答)

フードスペシャリストの資格は、まず、認定校において、食品の官能評価・鑑別論、食物学、調理学、栄養と健康、食品の安全性、食品流通・消費、フードコーディネーター等の必修科目の単位を取得します。そして、公益社団法人日本フードスペシャリストが行う資格認定試験に合格すると、卒業時に資格が交付されます。

(注) 資格認定試験は、必修科目から60問が出題され、合格率は約80%程度。

(問) フードスペシャリストは、栄養士や管理栄養士とどこが異なるのか。

(答)

栄養士は、食べ物の栄養成分を健康に役立つよう、指導・教育する指導職です。このため、「食べ物」を「健康維持に必要な栄養素の供給源」と位置づけています。

一方、フードスペシャリストは、「食」の本質が「おいしさ」、「楽しさ」、「おもてなし」にあると位置づけています。

このため、食品の生産から消費にわたる幅広い知識と技術を身につけることにより、食品関連業務において総合的な指導・助言やコーディネート等を行う「食」の専門職であるところに、双方の違いがあると考えます。

(問) 専門フードスペシャリストの資格も取っているようだが、フードスペシャリストの資格との違いは何か。

(答)

「専門フードスペシャリスト」は、「フードスペシャリスト」資格認定試験に合格した者が、さらに受験して合格することにより認定される上位資格です。また、食品関連業界で一定期間以上就業された方は、フードスペシャリスト資格と同等の能力があると認定され、受験が認められています。

「専門フードスペシャリスト」資格は、「フードスペシャリスト」資格と比較すると、より専門性や実用性が高いものとなっております。

【専門フードスペシャリスト(食品開発)の場合】

私が合格した「食品開発分野の専門フードスペシャリスト」資格は、食品の新商品開発や品質管理、貯蔵、流通などに役立つ知識や技術に関する資格となっています。

【専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)の場合】

私が合格した「食品流通・サービス分野の専門フードスペシャリスト」資格は、食商品の流通や販売、外食産業におけるコーディネーションなどに役立つ知識や技術に関する資格となっています。

専門フードスペシャリストの資格試験問題は非常に難しく、合格率は30%を下回ると聞いています。

(問) フードスペシャリストの資格を踏まえ、あなたは、どのような業務に取り組みたいと考えているのか。

(答)

【食品メーカー等の食品製造業の場合】

御社に入社させていただいた後の配属先は、お任せいたしますが、私としては、

【以下はあくまで例示であり、各自の回答を用意しておくこと】

- ①食品の製造・開発
- ②ナショナルブランド等の営業を含むマーケティング活動
- ③食品に関する情報調査と提供等の広報活動
- ④消費者の動向調査等の消費者対応

に携わることを希望しています。

【食品物流センター等の食品卸売業の場合】

御社に入社させていただいた後の配属先は、お任せいたしますが、私としては、

【以下はあくまで例示であり、各自の回答を用意しておくこと】

- ①食品の鮮度・熟度等の品質管理
- ②商品の効率的な仕入れと配送等のロジスティクス業務
- ③小売業の販売データや新商品の情報等の商品情報管理
- ④プライベートブランド商品等の営業・販売

に携わることを希望しています。

【食品スーパー等の食品小売業の場合】

御社に入社させていただいた後の配属先は、お任せいたしますが、私としては、

【以下はあくまで例示であり、各自の回答を用意しておくこと】

- ①生産者からの食品の仕入や品ぞろえ等のバイヤー業務
- ②商品の適切な仕入れ・販売・管理等のマーチャンダイジング業務
- ②POSシステムを活用した販売情報や消費者情報等の提供・管理
- ④プライベートブランド商品等の営業・販売

に携わることを希望しています。

【レストラン・食堂等の外食業の場合】

御社に入社させていただいた後の配属先は、お任せいたしますが、私としては、

【以下はあくまで例示であり、各自の回答を用意しておくこと】

- ①食材の適切な仕入れ・販売・管理等のマーチャンダイジング業務
- ②消費者ニーズ等を踏まえた新メニュー等の開発
- ③接客・サービス・食空間のコーディネート業務
- ④店舗の運営に関するマネジメント

に携わることを希望しています。

(注) 新入社員の採用側では、「あなたは、この資格をどのように仕事に活かしたいのか？」という質問に対して、的確に回答できる者が少ないと話しています。

あなたの経験や取得した資格を踏まえて、「このような仕事をしたい。」という説明をできるようにして面接に臨んでください。

(問) 実際、フードスペシャリストは、どのような職業についているのか。

(答)

資格取得者は、全国の食品関連業界等で働いており、日本フードスペシャリスト協会が取りまとめた就職状況調査では、「飲食サービス業・宿泊業」、「飲食料製造業」、「飲食料品卸売業」、「飲食料品小売業」「医療・福祉」などの分野に就職しています。

(注) 飲食サービス業とは、主として顧客の注文に応じて調理した飲食料品を提供する事業者をいう。

(参考) 毎年、2,000人強のフードスペシャリスト資格取得者が誕生しており、平成11年度からの累計数では、全国で10万人強の資格取得者がいる。